



雲南

うん なん



菅谷高殿の桂の木（吉田町）

令和3年 3月定例会

● 3月定例会報告	2
● 意見書提出	3
● 主な予算・議案の審査と結果	4
● 委員会報告	7
● 会派代表質問	10
● 一般質問	12
● 編集後記	16

当初予算可決

本予算は石飛市長が就任し間がなかったため、市長の考えを具体化されていない骨格予算です。

●新型コロナウイルスワクチン接種 対策事業



1億6,850万円

3月15日から雲南市内で始まった医療従事者への
新型コロナワクチン接種

●永井隆記念館管理事業



1,190万円

4月20日に開館した永井隆記念館

令和3年3月定例会を3月1日から22日までの会期で行いました。承認1件、条例その他35件、令和2年度補正予算7件、令和3年度当初予算10件、同意1件、諮問1件、報告3件が上程され慎重に審議した結果、原案通り可決しました。請願1件については、賛成少数で不採択としました。また、新型コロナ対策に関連し、議員発議による意見書を国に提出しました。

令和3年度

一般会計 273億7,000万円

●畜産・酪農収益力強化整備等 特別対策事業施設整備事業補助金



6,130万円

恵まれた自然環境を生かした放牧

●放課後児童対策事業



8,070万円

春の陽ざしをあびて遊ぶ子ども達

緊急事態宣言の影響を受ける飲食店等への支援を求める意見書

本年1月、大都市圏においては、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、緊急事態宣言が再発令された。この宣言に伴う対策の内容は、飲食店の時間短縮に重きを置いたものであり、このことが地方にも影響し、本市のような感染が抑えられている地域においても飲食店の利用を控える傾向が非常に強くなった。

こうしたことから、市内の飲食店及びその関連事業者は、緊急事態宣言の発令地域や時短要請がされている地域（以下「緊急事態宣言等地域」という。）と同様に売上げが大幅に落ち込み、廃業を余儀なくされるなど極めて厳しい経営環境に置かれている。

一方、国の飲食業者への時短要請協力金や、その関連事業者への一次支援金などの支援は、制度としては全国を対象としているものの、実態としてこれらの支援を受けられる事業者は、緊急事態宣言等地域に限られている。

緊急事態宣言等地域であるか否かを問わず、同じような厳しい経営環境にあれば、同様に支援の手は差し伸べられるべきである。緊急事態宣言等地域でないことをもって、支援措置が無いということは著しく不公平であり、早急に是正すべきものと考えます。

また、こうした厳しい時こそ、財政基盤の脆弱な地方への配慮が必要と考える。

このような状況を踏まえ、下記の事項に取り組まれることを強く求める。

記

緊急事態宣言等地域以外の地域において厳しい経営環境にある飲食店に対し、緊急事態宣言等地域と同様に飲食店向けの給付金を支給するとともに、緊急事態宣言等地域の飲食店との取引に限定して実施する予定の「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金」を、緊急事態宣言等地域以外の飲食店との取引も対象とした制度に拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年3月22日

島根県雲南市議会

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣
経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、中小企業庁長官

令和3年度主な当初予算（一般会計）

（単位：千円）

事業名	内 容	R3当初	R2当初
庁舎管理事業	本庁舎・各総合センター等で新型コロナウイルスの感染症対策に使用する消耗品等の購入	57,897	53,088
分庁舎施設整備事業	分庁舎（上下水道部）の建設	139,588	309,428
公共施設解体撤去事業	旧掛合総合センター、旧大東総合センター、旧掛合交流センターの解体に向けた調査費	11,572	0
官民連携による健康なコミュニティづくり可能性調査事業	地域の多様な関係者が連携協働し地域全体で支え合う仕組みづくり、対話と協働を促す「おせっかい会議」の定期的な開催及び調査	19,040	12,850
木次線利活用推進協議会負担金	J R木次線の利用促進	2,559	775
加茂交流センター整備事業	加茂交流センターの建設	498,742	0
衆議院議員選挙	第49回衆議院議員総選挙執行に係る事務全般	40,902	0
雲南市シルバー人材センター補助金	雲南市シルバー人材センターの事業・活動の補助	14,714	13,821
生活支援体制整備事業	第1層生活支援コーディネーターの配置	6,415	910
児童福祉総務管理事業	市直営の児童福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策に必要な衛生用品の購入	3,941	904
病児病後児保育事業	加茂こども園の委託に合わせ、新たに体調不良児型保育室を園内に設ける	19,810	15,404
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金	児童福祉施設等（委託・私立施設）の衛生用品や備品購入等に係る費用の補助	5,200	0
放課後児童対策事業	放課後児童対策事業に係る委託料増額及び、三刀屋放課後児童クラブ施設雨漏り修繕	80,690	74,646
児童福祉施設整備事業	寺領児童クラブの日登交流センターへの移設	6,000	0
加茂こども園保育業務委託事業	雲南市立加茂こども園の運営を社会福祉法人たんぼぼへ委託	165,656	0
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	新型コロナウイルスワクチン接種の実施	168,498	0
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業のための専門員の配置や関係団体との連携体制の構築等推進体制の拡充を図る	1,363	0
集落営農体制強化スピードアップ事業補助金	集落営農の組織化・法人化、集落営農法人等が連携する広域連携組織の育成などの取組経費の補助金	2,723	0
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業施設整備事業補助金	市内畜産農家の施設整備を支援	61,345	0
消費喚起・販売促進活動等支援事業	業況回復を目指し事業者が取り組む消費喚起活動や販売促進活動に対し、その経費を一部支援する	22,100	0
宿泊・観光消費喚起支援事業	市内宿泊施設の消費喚起支援	8,855	0
「たたら」を活用した情報発信事業	道の駅たたらば壱番地を集客拠点とした情報発信事業	434	0
和鋼生産たたら体験交流施設管理事業	たたら歴史と文化を継承し、観光の振興と産業の創出を図る地域活性化のための施設（たたら体験交流施設）の維持管理	941	0
道路構造物長寿命化事業	橋梁点検と修繕の実施	112,300	0
除雪施設整備事業	除雪機械車庫建設工事	20,000	0
河川維持管理事業	6河川の土砂撤去工事、10河川の修繕	13,000	5,000
空き家対策事業	雲南市空き家対策協議会の開催、空き家対策の普及啓発	729	0
県営住宅取得事業	県営住宅上郡団地を取得し事業主体を島根県から雲南市に変更する	32,481	0
デジタル防災無線管理事業	デジタル防災無線整備の管理、運用に要する経費	25,390	0
避難所等感染症対策事業	避難所などで使用する衛生用品、間仕切り・折りたたみベットなどの購入	5,000	0
地域とともにある学校づくり推進事業	特色ある教育活動を推進する経費	22,384	12,264

梶谷 佳平	宇都宮 晃	上代 和美	足立 昭二	中林 孝	松林 孝之	中村 辰真	原 祐二	白築 俊幸	周藤 正志	細田 実	藤原 信宏	矢壁 正弘
○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●

令和3年度主な当初予算（一般会計）

（単位：千円）

事業名	内 容	R3当初	R2当初
いじめ・不登校防止対策推進事業	「雲南市いじめ問題対策連絡協議会」などの設置、「QUテスト（※1）」の実施	1,576	0
児童生徒タブレット活用推進事業	GIGAスクール構想実現の円滑なスタートのための事業	6,902	0
雲南コミュニティハイスクールコンソーシアム補助金	高校生の地域留学（※2）推進	2,252	0
スクールバス整備事業	スクールバスの老朽化による車両更新（1台）	10,244	0
幼稚園総務管理事業	新型コロナウイルス感染症対策の衛生用品や備品の購入等	40,385	29,842
永井隆記念館管理事業	永井隆記念館の指定管理事業及び竣工式の実施	11,933	554
社会教育施設整備事業	オープンエアミュージアム施設の合併浄化槽、高圧受電設備の修繕等。	6,664	0
山王寺本郷地区水道管整備事業	大東町山王寺本郷地区の水道整備	50,000	18,000
生活基盤施設耐震化等交付金	水道管の耐震化、水道施設台帳システムの構築	30,900	15,000
公共下水道汚水施設整備事業	木次・三刀屋の汚水処理施設の整備	55,300	58,000
大東町地区特環施設整備事業	大東町東町地内の汚水管路新設工事、大東浄化センター及び管路施設の機能診断、更新工事の実施	14,800	16,300
加茂町地区特環施設整備事業	農業集落排水の加茂特定環境保全公共下水道への接続、神原企業団地の管路新設工事、加茂浄化センター及び管路施設の機能診断、更新工事の実施	54,100	57,100
市立病院建設改良事業	老朽化した医療機器の更新、医療機器の整備	80,000	107,390

※1 QUテスト（QUESTIONNAIRE-UTILITIES）楽しい学校生活を送るためのアンケート
 ※2 高校生の地域留学 高校生が在学する高校とは別の地域の高校において1学年を過ごすこと

令和2年度主な補正予算（一般会計）

（単位：千円）

事業名	内 容	補正額	補正後総額
新型コロナウイルス感染症対応基金積立金	ケーブルテレビのFTTH化整備のための財源の積み立て	120,000	120,000
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用	10,000	10,000
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	接種体制確保のための費用	50,000	50,000
農業者緊急支援事業補助金	新型コロナウイルス感染症による影響に対する農業者支援	11,705	33,105
経営体育成基盤整備事業負担金	経営体育成基盤整備事業に伴う雲南市負担金	17,000	48,750
農村地域防災減災事業負担金	集落の防災安全のために必要な道路の整備	7,500	23,090
基幹農道整備事業負担金	重要かつ農村地域の改善に資する農道網の基幹的となる農道の整備	750	47,750
除雪総務管理事業	除雪作業委託金の増額	168,824	239,554
公立学校情報機器整備事業	GIGAスクール構想に係る児童生徒1人1台端末の整備	147,535	478,536
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（小学校費）	新型コロナウイルス感染症対策経費の追加	12,000	12,000
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（中学校費）	新型コロナウイルス感染症対策経費の追加	5,600	5,600

採決結果（議案及び請願・陳情で賛否の分かれたもの）

議長は採決に加わりません 「○」・賛成 「●」・反対

議案名	採決結果	多賀 法華	安田 栄太	児玉 幸久	上代 純子	鶴原 能也
令和3年度雲南市一般会計	可決	○	○	○	○	○
令和3年度雲南市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	●	○	●	○
令和3年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択	○	●	●	●	●

議案 請願 審議結果

承認	採決結果	採決状況
令和2年度雲南市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認 ・市長選挙実施に伴う補正予算 ・補正額 37,900千円	承認	全会一致
条例・規約	採決結果	採決状況
雲南市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定 ・地方自治法第243条の2第1項の規定に基づき、市長等の市に対する損害を賠償する責任を一部免れさせることに関して、条例を制定。	可決	全会一致
雲南市防災無線システム設備条例の制定 ・雲南市防災無線システム設備を設置することに伴い、条例を制定。	可決	全会一致
雲南市国民健康保険条例の一部を改正する条例 ・平成21年5月1日付け厚生労働省保険局国民健康保険課長通知及び新型コロナウイルス等対策特別措置法等の一部を改正する法律が令和3年2月3日に公布されたことに伴い、条例を改正。	可決	全会一致
雲南市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 ・平成21年5月1日付け厚生労働省保険局高齢者医療課長通知に伴い、条例を改正。	可決	全会一致
雲南市立認定こども園条例の一部を改正する条例 ・木次こども園新園舎建設に伴い、条例を改正。	可決	全会一致
雲南市手数料徴収条例の一部を改正する条例 ・建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律が令和3年4月1日に施行されることに伴い手数料を改定するため、条例を改正。（低炭素建築物新築等計画の認定手数料の改定）	可決	全会一致
雲南市定住促進住宅条例の一部を改正する条例 ・人口の社会増に向けた定住促進住宅の入居者支援事業の期間延長（令和6年3月まで3年延長）と支援拡充を行うため、条例を改正。	可決	全会一致
雲南市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例 ・人口の社会増に向けた特定公共賃貸住宅の入居者支援事業の期間延長（令和6年3月まで3年延長）と支援拡充（子供一人5千円減額を1万円減額）を行うため、条例を改正。	可決	全会一致
雲南市集落集会所条例の一部を改正する条例 ・公共施設等総合管理計画に基づき、後根波コミュニティセンターの譲渡に向け、条例を改正。	可決	全会一致
雲南市掛合集会所センター条例を廃止する条例 ・公共施設等総合管理計画に基づき、波多集会所センターの廃止及び入間集会所センターの譲渡に向け、条例を廃止。	可決	全会一致
雲南市学校給食調理業務等委託評価委員会条例の一部を改正する条例 ・雲南市学校給食調理業務等委託評価委員会を構成する委員を変更するため、条例を改正。	可決	全会一致
雲南市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定 ・いじめ防止対策推進法の規定に基づき、児童生徒のいじめの防止等のために「雲南市いじめ問題対策連絡協議会」などを設置するため、条例を制定。	可決	全会一致
雲南市非常勤の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例 ・学校薬剤師報酬の改定に伴い、条例を改正。	可決	全会一致
雲南広域連合規約の一部を変更する規約 ・雲南広域連合が行っている下水道事業に係る負担割合（実績割）の算出期間を、前々年度の10月1日から前年度の9月30日までに変更するため、雲南広域連合規約の一部を変更。	可決	全会一致

一般事件	採決結果	採決状況
公の施設の指定管理者の指定の変更 ・後根波コミュニティセンターの指定管理者の指定の変更。	可決	全会一致
公の施設の指定管理者の指定（16件）	可決	全会一致
市道の路線認定 ・6路線：小豆田堤防線、真野下線、新市下線、要害8号線、勝熊1号線、勝熊2号線	可決	全会一致
市道の路線廃止 ・4路線：峰山線、引野2号線、大原真野線、成2号線	可決	全会一致
市道の路線変更 ・2路線：草谷線、卯月谷線	可決	全会一致
デジタル防災行政無線整備事業雲南市280MHzデジタル同報無線システム整備工事請負契約の変更 契約金額：変更前 1,125,300,000円 変更後 1,174,209,300円 完了工期：変更前 令和3年3月10日 変更後 令和3年6月30日	可決	全会一致

同意	採決結果	採決状況
雲南市教育委員会委員の任命につき同意を求めること ・同意した教育委員 氏名：高木広明さん 任期：令和3年4月1日～令和7年3月31日	同意	全会一致

諮問	採決結果	採決状況
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること ・市長が市議会の意見を聞いて、人権擁護委員の候補者を推薦するもの。 異議のない旨市長に通知した人権擁護委員候補 氏名：帯刀一美さん	同意	全会一致

報告
議会の委任による専決処分の報告 ・議会の議決を経た「木次こども園建設事業木次こども園新園舎建設工事（建築主体）請負契約」について、議会の議決により委任された事項として専決処分したので、議会に報告。 契約金額：変更前 494,450,000円 変更後 497,525,600円
議会の委任による専決処分の報告 ・法律上市の義務に属する損害賠償の額を定めること及びその和解に関して、議会に報告。 内容：市道で自動車が落石に乗り上げ損傷。 和解額 11,729円
議会の委任による専決処分の報告 ・議会の議決を経た「分庁舎施設整備事業上下水道部庁舎建設（建築主体）工事請負契約」について、議会の議決により委任された事項として専決処分したので、議会に報告。 契約金額：変更前 271,480,000円 変更後 276,815,000円

請願・陳情	採決結果	採決状況
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書（請願者 島根県労働組合総連合）	不採択	賛成少数

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された9件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について

この条例は、平成29年の地方自治法の改正により、市長や職員等の職務行為に伴って発生した損害について、善意かつ重大な過失がない場合に、損害賠償責任の一部を免責しようとするものです。具体的には、住民監査請求が行われ、監査委員による監査結果に不服があるときは、裁判所に対して住民訴訟の提起がなされることとなります。

その結果、損害賠償責任が生じた場合に、当該職務行為が善意かつ重大な過失がない場合に、市長・副市長等の職責に応

じた4段階の区分で最低責任限度額を定め、それを超える額を免責するもので、これにより萎縮することなく職務を遂行できることを目的としています。

(主な予算の審査状況)

・令和2年度雲南市一般会計補正予算(第11号)について

定住対策事業は、東京23区からの移住支援事業補助金が160万円の減、



整備予定の住宅団地(木次町)

3世代同居支援促進事業補助金が100万円の減となっている。一方で、

宅地購入補助金は希望が多く、子育て世代定住宅地補助金は継続の要望もある。各種の定住施策を検証して、どんな施策が最も効果的か、的を絞った施策展開を図るべきとの意見に対し、人口対策の重点支援策として、これから結婚する、あるいは子育て中の世帯を支援することとしており、意見を踏まえて今後の展開を図っていくとの答弁でした。

・令和3年度雲南市一般会計予算について

各種基金の運用状況についての質疑があり、資金運用計画を基に、30年国債で10億1,000万円、20年県債で3億円、合計13億1,000万円を運用している。これに対し、債券投資は有利な運用手段であったが、将来的には決して安全かつ有利な運用とは言い切れ

ない。債券相場は流動的で元本割れのリスクが常にあることを念頭に、適宜、運用方針を見直すことや緊急時に機動的な対応がとれるよう求めました。

消防大会・消防操法大会運営事業526万円について、かねて消防団員から訓練の必要性は認められるものの、操法大会は相応の負担となっており、見直しが要望されている。これについては、消防団の中で検討することのことであったが、その後の検討状況はどうなっているかとの問いに、県本部は操法大会を継続開催する意向であり、引き続き協議していきたいとの答弁でした。

ホームページ運営事業290万円について、ホームページの内容が何年も前のままのものがあ

る。更新は迅速にすべきとの指摘に対し、政策決定あるいは議会議決後、直ちに更新したいと思っ



消防操法大会の様子

ているが、業務の都合もあり、なかなか追いついていない状況である。改めて庁内の周知を図り、迅速な更新に努めるとの答弁でした。

行政評価推進事業255万円について、成果は出ているのか、今年も同様にやるのか、との問いに、PDCAサイクルを実施するためには行政評価は不可欠であるが、そのやり方について、負担の少ない方法に見直しを行うとの答弁でした。

委員会報告

(議案の審議)

本委員会に付託及び委託された13件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

本条例は、平成27年度に滞納管理システム更新を行った際に、延滞金の軽減措置を3カ月に拡充する配慮を求めた通知に従い、軽減期間の拡充を決定し運用してきたが、同時に行うべき、国民健康保険条例の一部改正をしていなかったため、今回改正を行うものです。

質疑では、今回の改正は、通達に従って行う事は理解できるが、他の市民税や固定資産税、軽自動車税及び市税以外の分担金等の延滞金も同一なのか、また均衡はとれているかとの問いに、今回

の通達は、国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料について延滞金の軽減措置の変更をするものです。他の市税の延滞金については、一ヶ月経過をするまでとして条例等で定め運用しているとの答弁でした。

・雲南市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について

本条例は、平成25年に



雲南市人権センター

いじめ防止対策推進法が制定され、それに基づき児童生徒のいじめ防止等に必要な組織を設置するものです。

この協議会は20人以内で組織するということがあるが、この中に一般公募による民間人を入れる考えはないかとの問いに対し、一般公募という項目を設けてはいないが、入っていたいただいた方がより議論が活発化するのではないかと考えている。一般公募という項目の追加については今後、検討するとの答弁がありました。

(主な予算の審査状況)

・令和2年度雲南市一般会計補正予算(第11号)について

新エネルギー機器導入補助金111万円の減額に対する説明は、申請件数が減ったためとされていた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、設置を控えたことが原因か、また申請件数が



太陽光発電システム

いては、詳細な調査はしていないが、近年減少傾向にある。その要因の一つに、中国電力へ売電する関係上、売電単価が安くなった事もあり、年々減少しているのではないかと答弁でした。

・令和3年度雲南市一般会計予算について

人工透析患者通院費支援事業190万円は、人工透析患者に通院交通費半額を助成するものです。患者会からの請願を採択した経緯を踏まえ、令和3年度も交通費の半額を助成するものである。その後の進展状況はとの問いに、市内の透析治療を行う2つの医療機関へ状況確認をし、協議をしている。さらには奥出雲町とも協議をしている。現在、健康福祉部で制度設計に取り組んでいるが、令和3年度予算は骨格予算となり、現時点では盛り込まれていない。今後検討を進めたいとの答弁でした。

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された33件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市定住促進住宅条例の一部改正(議案第7号)について

・雲南市特定公共賃貸住宅条例の一部改正(議案第8号)について

人口の社会増に向けた定住施策として、定住促進住宅、及び特定公共賃貸住宅の入居者支援事業の期間延長と支援策の拡充を行うための条例改正です。

質疑では、入居者への優遇措置は第7号の2団地と第8号の2団地のみか。また、第7号の減額は5千円で据え置きに対し、第8号は5千円から1万円へ拡充となっている理由はとの問いに、第7号分は木次東団地と加

茂中団地、第8号分は瑞光団地、下郡団地である。

優遇金額の拡充がされている瑞光団地、下郡団地は所在地が吉田・掛合であり、周辺部への優遇措置であるとともに、下郡団地は半分が空室であることも加味したとの答弁でした。

(主な予算の審査状況)

・令和2年度雲南市一般会計補正予算(第11号)について

三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画事業1,020万円の減額は事業費全額を減額し、令和3年度に事業を繰越すものです。質疑では、まめなか広場整備と要害6号線整備であったが、事業着手せずに全額を減額とされた。本来であれば繰越明許費に計上し繰越すべきであるが、なぜかとの問いに、まめなか広場周辺は隣接にホテル事



ホテル建設予定地(三刀屋町)

施できなければ繰越し手続きを取り、次年度に送るべきと指摘しました。

・令和3年度雲南市一般会計予算について

道路新設改良費8億4,169万円は、これまで整備路線は各町2路線ずつとなっていたが、来年度はどうかとの問いに、各町2路線ずつの整備計画は難しくなっており、今後は小さな拠点を結ぶネットワーク整備として、該当する県道、市道を優先的に整備する。選定の中で漏れた路線は他事業を活用し、地域バランスを考慮して整備するとの答弁でした。



市道佐世線(大東町)

整備計画を改定するのであれば、再構築する目的と内容を明確にすべきとの意見を付しました。

商工業振興補助金4,450万円は雲南市商工会の運営等に対する補助金です。前年比240万円減額の内容はとの問いに、地域振興支援事業部を減額したとの答弁に、現在商工会は、通常業務に加え、新型コロナウイルス感染症対応として事業者の申請や融資相談等まで業務が拡大している。経営内容まで踏み込んだ相談であり、派遣や事務代行で賄えるものではない。商工会業務が行き詰まると事業者にも大きな損失を伴いかねない。運営資金の上乗せが必要ではないかとの指摘に、事業者支援は商工会なくしては回らないと認識している。今後の取り組みも含め検討が必要と考えているとの答弁でした。

会派代表質問

基本的に本人提出の原稿をそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。

【政友クラブ】

市政運営に挑む基本姿勢は



藤原 信宏

問 石飛新市長の市政に挑む基本的な姿勢、「厚（熱）い志」を伺う。

答 是々非々の姿勢で、良い部分は伸ばし社会情勢に合わない部分は修正していく。市政の安定に努め進めて参りたい。

問 計画が進む大型事業の見直しについて2事業を挙げている。その決定には十分な精査と開示、協議を重ねた上での合意形成が不可欠だ。行政の継続性と二元代表制を念

頭に、議会に諮り手続きを踏みながら進めるべきで、市長が独断専行してはならない。見解を伺う。

答 十分な精査と開示、協議を重ねた上での合意形成が必要で、プロセスを大切にし、議会に諮りながら進めて参りたい。

問 松江シティFCが雲南市拠点のユースチーム設立を断念した経緯は誠に遺憾だ。「サッカーを通じた魅力ある教育環境創出事業」は本当にこれで良かったのか、どの様に軌道修正する考えか。

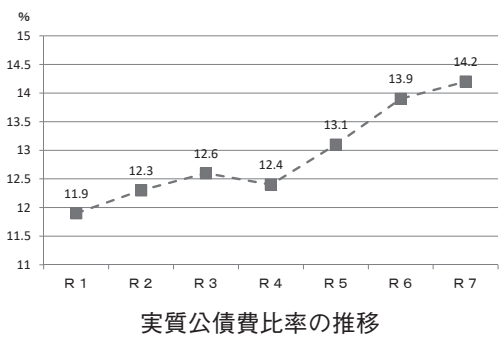
答 現状に納得できない方が多く、対応が必要と考えている。松江シティFCの現在の考えを伺った上で今後の対応を考えたい。

問 地域自主組織中心の「市民との協働によるまちづくり」は時代の要請

だが、高齢化と人口減少の波に陰りが見える。担い手の育成確保や組織の充実、財源確保等、課題解決策を伺う。

答 協働のまちづくりはこれから持続性が重要で、必要な担い手対策や財源の確保などに積極的な対策を講じていきたい。

問 普通交付税の一本算定移行による減額などで普通会計は令和元年度から収支不足に陥り、実質公債費比率等の財政指標が悪化傾向にある。持続可能な財政構造確立に向けた方針はどうか。



答 普通交付税の推移を見定め、地方債の発行と償還のバランスを図ることが最も大切と考える。



島根原発3号機内部

問 島根原発2号機の再稼働に向けた適合性審査が終盤を迎えている。原

長の基本的見解を伺う。

「まちづくり」は、人口の社会増や地域の活性化を導く人材育成確保に向けた確かな取組と評価している。人口減少対策として市民のチャレンジを積極的に支援する考えは。

答 大切な取り組みであり、若い世代が地域を担う人材として定住し活躍できるように更に充実したい。

問 森林環境譲与税は国土保全や災害防止、山村振興につながる貴重な安定財源であり、単年度ごとの予算消化ではなく中期のビジョンが必要と考える。譲与税活用の中長期計画策定を求めらる。

答 森林整備を効率的、効果的に進める計画は必要で作成を進めたい。

問 中心市街地活性化事業の目的達成には、核となるホテル誘致が不可欠だ。コロナ終息の見通しは不透明で予断を許さない。ホテル建設実現まで最大限の努力を求めらる。

※1 雲南市原子力発電所環境安全対策協議会
 ※2 雲南市原子力安全顧問会議

【明誠会】

対話により
納得感を高める



原 祐二

問 選挙結果の反対票（47％）をどう捉え、市政運営にあたるのか。

答 対立ではなく、対話により、共通の思いを一緒に進んでいく。謙虚な気持ちで、様々な意見に耳を傾け、市民の納得感を高めたい。

問 地域経済は、新型コロナウイルス禍で厳しさを増している。地域経済への効果を高めるための政策は。

答 国・県の事業と連携を図るとともに、市独自の消費喚起策を実施し、地域経済の活性化に向け注力する。今後、売り上げの減少が著しい飲食・

宿泊業等への給付金事業（20万円から90万円）の創設を考えている。

問 丸山知事らが求める緊急提言、コロナ経済支援の格差是正をどう捉え、行動するのか。

答 知事の主張と同様の認識であり、市単独の対策も検討している。市の実情を説明し、国への支援を要望したい。

問 次世代を担う人材確保のため、出生数や婚姻数など、出生数に関係する数値目標を掲げるべきでは。

答 人口減少対策には、合計特殊出生率を引き上

年	出生数(人)	年	出生数(人)
2011	304	2016	260
2012	266	2017	252
2013	254	2018	219
2014	267	2019	173
2015	224	2020	202

雲南市の出生数の推移（各年10月1日現在）
しまね統計情報データベースによる

げることが重要な視点と認識している。目標値は必要だが、関係する分野の示し方を含め、十分に検討したい。

問 人口減少が進む地域（吉田町・掛合町と4町の周辺部）の振興策は。

答 周辺部の活性化なくして、市全体の賑わい・発展は難しい。全ての地域で生き生きと暮らしていけるよう、あらゆる分野で必要な対策を講ずる。

問 U・イーターンによる若者の増加と若者の市内留置を図るため、通勤費に対する支援を。

答 現状では、若者定住策として宅地購入等の支援制度がある。効果的な若者定住の対策であれば検討を進める。

問 75才以上の高齢世帯が増加し、現役世代への負担増が懸念される。高齢世帯への在宅支援の要件緩和及び高齢世帯の割合が高い地域への支援・助成の充実を。

答 高齢世帯への対応は、



令和3年中に配備予定の緊急通報システム

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの拡充・体制整備の中で考えなければならぬ。現役世代の負担軽減は、一律の対応は難しく、地域の実情を聞き対応を検討したい。

問 持続可能な地域づくりは、総合センターの役割が重要との考えを示された。地域自主組織をどのようにブラッシュアップし、地域づくりを進めるのか。

答 持続性が重要であり、担い手対策や財源の確保に取り組んでいく。現場に近い、総合センターで

地域の意見を聞き、的確かつ迅速な対応に向けた、組織・機構のあり方も検討する。



地域づくりの拠点 大東総合センターと大東交流センター

問 地域交通のあり方と政策、民間タクシー維持への支援は。

答 国・県の支援を活用しながら、効率化を図り交通体系を維持・継続していく。民間タクシーは、必要な事業であり、支援の方法を検討したい。

一般質問

基本的に本人提出の原稿をそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。

経済緊急支援策と 高校魅力化の推進



松林 孝之

問 市長は選挙戦、所信表明を通じ、コロナ禍で疲弊する飲食・宿泊業等への支援に力を入れるとされたが具体策は。

答 緊急支援策として飲食・宿泊・旅客運送業及びセーフティネット申請事業者に対し、20万円、90万円の給付事業を創出する。

問 実施時期は。
答 国の3次補正との兼ね合いもあり、新年度早々の実施に結び付けたい。

産業政策について



中林 孝

問 県は消費喚起策として国のGOTOイート事業に上乗せ助成するとした。対象事業者は飲食店だが、類似の業者等も含め枠を拡大し、消費全体の喚起策としてはどうか。

答 運用上難しく、事業枠拡大は考えていない。

問 松江シティFCユースの設立は、突如断念の報道があったが、市から市民への説明がされていない。希望していた中学生や地元へのフォローは。
答 対象中学生14名にはFC側からフォローされた。地域には受入準備会と自主組織に説明した。

問 高校魅力化推進の為に、まず信頼回復を。
答 関係各位への謝罪とともに信頼回復に努める。

問 最大の課題は何か。

答 当面の課題はコロナ感染予防と経済対策だ。一番の問題は人口減少対策だ。正面から取り組む。

問 農業を基本に稼げる仕組みが必要とのことだが、農業振興をどう進めるか。たたら焔米の補助も継続すべきだ。

答 農業は基本的に売れる農業、儲かる農業の実現を目指す。産業としての農業と地域を守る農業を両立し、地域で農業を続けたいと思われるような施策を展開していく。

問 建設業も重要な産業だ。今後、普通建設事業費の先細りが予想されるが対策は十分と言えるか。
答 中期財政計画は毎年見直しを行っており、将

来を約束するものではない。公共工事の発注量には配慮していく必要がある。

問 テレワークが進む中、首都機能の一部を移転し雇用確保してはどうか。例えば国立国会図書館などは可能と思うが。

答 現時点で具体的なアイデアは持ち合わせていない。地方創生や首都機能の地方への分散といった観点で上京の折、国に対し働きかけていきたい。

市長のアイ マゴころざしを伺う



鶴原 能也

問 大型プロジェクト事業について今後どのように取り組むのか。

答 十分な精査と協議を重ねた上での合意形成が必要であり、プロセスを大切に進めていく。

問 市長の「雲南プライド」というキーワードはコウノトリがもたらす恵みの好循環に合致しており、まちづくりに活かすことが必要と考えるが。

答 アクシヨンプランの「雲南市のブランド価値の向上」と「雲南プライド」は同じ意味であり、今後ともコウノトリがもたらす恵みをまちづくりに活かしていく。

問 JR木次線利用促進に向けた具体的活動内容は。

答 生活交通利用支援、観光利用支援の観点から助成事業を実施する。また沿線自治体、住民の皆様、関係企業等が一丸となって事業に取り組むための体制を強化する。

問 防災重点農業用ため池整備工事の早期着工を。
答 新年度より整備計画を再検討し計画的に進める。

問 バスの停留所に待合椅子の整備を。
答 事故防止の観点から必要に応じて検討する。

一般質問

先の見えない
コロナ禍の支援策



上代 純子

問 商工業、農林業事業者全体が経営の危機感を感じている今、地域経済を立て直す支援策は。

答 市独自の持続化給付金事業を実施する。特に飲食・宿泊・旅客運送業及びセーフティーネットの認定を受けた事業者に対して、スピード感を持って対応する。通常であれば6月議会だが臨時議会を開いて議論していく。

問 キャッシュレス決済消費喚起支援事業を行っているが進捗状況は。

答 2月22日の時点では、10分の1程度の利用だが、今後は積極的に市内周知を図っていく。

問 県道吉田三刀屋線の三刀屋地区の流雪溝利用



三刀屋連坦地の流雪溝

の区割りと時間指定の周知が1カ月前にされていたが、一斉の除雪作業により詰まる事態になった。予防策はなかったのか。

答 具体的な予防策はないが、地域自治組織と除雪に関して意見交換会の場を設ける予定にしている。その中で流雪溝の適切な管理、運用について相談させていただく。

国の政治を変えて
いく力点必要



足立 昭二

問 丸山島根県知事の東京オリンピック聖火リレーの中止検討表明発言の見解を問う。

答 地域の声をしっかりと国政に届けていく目的でされたと理解している。

問 丸山知事発言と行動は、涙が出るほどうれしかった。これからの自治体トップに求められることは、国や県に対して意見を言う、はっきり物言方を変えていく力点も必要だ、市長の考えは。

答 市民本位の行政をして行く。市民のためになることであればしっかりと声を上げていく。

問 所信表明では、速水市政16年間の評価について述べられた。「良いと

ころはさらに伸ばし」とは何か、「必要などころは修正しながら」とはどのような点か問う。

答 地域自主組織を中心に、雲南市のまちづくりの基礎となる取り組みを展開されてきた。一方で、政策プロセスが見えにくかったことや、人口減少など社会の変化に必ずしも対応できていない部分もあったと考える。

市の教育とコーディネーター制度



細田 実

問 中学校区に配置されている教育支援コーディネーターの制度を変更するという説明が学校運営協議会であった。

この制度については雲南市の教育基本計画にもその重要性が記載され成

果を上げている施策だ。それがなぜあつという間に変更されようとするのか。どこで議論し決められたのか。教育委員会でも議論されていないのではないかと。プロセスがない。

しかもコーディネーターの皆さんへ活動と労働条件についての説明があつたのは1月末とあまりにも乱暴ではないのか。

答 関係者の皆さまには十分(説明が)行き届いていないことや、議論を深める時間が必要との声をいただいている。教育委員会にも十分かけていない。

教育支援コーディネーター、地域支援コーディネーターの努力によって非常に成果が上がっていると思う。議論を深める時間が必要なので令和3年度に1年かけて議論をする。

雲南市の将来
ビジョンについて



宇都宮 晃

問 多くの課題を抱える雲南市に、どのようなビジョンで臨まれるのか。

答 明るい未来というキーワードを掲げている人口減少の中で、暗いビジョン、暗いイメージしか思い浮かばない今、人口減少問題に明るい未来が見られ、雲南市全体をよい循環に持っていくイメージで臨む。大人が生き生きと暮らせ、子供の明るい声が聞こえる雲南市をつくっていきたい。

問 新型コロナウイルスワクチン接種の現況、コロナ禍の影響を受ける事業者への支援は。

答 集団接種を基本に具対策を考えている。市独自の支援策も検討中であり、地域の実情も県同様

国に伝え支援を得たい。
問 小学5、6年の教科担任制についての考えは。

答 専門性を持つ教師による授業の質の向上により、児童の学習理解の深まりと学ぶ意欲の向上につながる。同時に、複数教師による多面的な児童理解、小中の円滑な接続、教師の負担軽減などの効果が考えられる。

他の質問
木次線、人口減少対策、学力調査など。

どこまで本気が
パート2



多賀 法華

問 学校教育のGIGAスクール構想や地域とともにある学校づくり推進事業が、保護者や子どもたち、地域の皆さんにきちんと伝わっていない。

市民と協働のまちづくりと言われるが、教育委員会に限らず、執行部はどこまで本気で市民と協働のまちづくりをするつもりなのか。

答 平成16年11月に、雲南市は6町村が対等合併して誕生した。吸収合併を行った他の市では、その大半が効率性を重視した集権体制。雲南市では、旧6町村がそれぞれに長い歴史、文化を持ち、広大な面積を有することから、身近な地域単位での自治を重視した地域自主組織の仕組みをつくった。まちづくり条例を定め、市民と行政と議会が相互理解のもとで取り組みを進めてきた。今後はこれまで以上に現場に出向き、地域自主組織単位や少人数の会議で意見交換を行ったり、市政への提案箱（意見箱）を導入したりするなどして、できるだけ多くの皆様のご意見を施策に反映させていきたい。

バスを維持する
ため利用促進を



児玉 幸久

問 バスは交通弱者にとって重要な移動手段。普段、車を利用していても他人事と考えず、可能な範囲で利用して維持していくことが必要。バスの利用促進に向けた市の取り組みについて伺う。

答 時刻表の改善に加え、今年度からインターネット上でも市民バスの路線やダイヤを検索できるよう、環境を整備している。また、バスだよりの全戸配布や、イベント等での情報発信など、利用促進に向けた雰囲気づくりを図っていく。市職員に対して、利用の働きかけを行っていききたい。

問 雲南市においても空き家の増加が大きな問題。空き家バンクの取り組み

も行われているが、今後の空き家の利活用に向けた推進体制について伺う。
答 市では、現在、定住推進員を配置し、空き家対策も含め移住定住の支援を行っている。平成24年から6年間は、各地域自主組織に定住協力員も配置し対応してきたが、現在はその制度は廃止している。今後、さらにきめ細やかな連携が必要である場合には、改めて体制等について検討する。



市民バス

一般質問

コロナ禍の景気 対策について



安田 栄太

問 昨年の飲食・宿泊・タクシー業消費喚起事業の効果と今後の支援策は。

答 緊急事態宣言により、特に影響を受けた業種に、昨年8月から実施した。事業者が商品券を販売し、代金が手元に入り売上が確保できることが一番の効果であったと考える。飲食・宿泊業を中心に、1月から2月のあたりで、売上が落ちた事業者に対し寄付金事業的なものを考えている。

問 サッカー場整備事業について、検討するとあるが、市民の声を聞くのか見解を伺う。

答 まず、松江シティFCの考えを聞いた上で、今後の対応を考えた

い。対応を検討する際には、大東高校や地域の皆様との意見交換も必要と考える。方針を定める際には、議会においても十分な説明が必要と認識している。



大東公園多目的広場

問 市内キャンプ場施設の整備を求める声がある。交流人口拡大につながるかと考えるが、所見を伺う。

答 市としても観光資源としての魅力を再認識している。老朽化への対応や修繕は、予算の確保を図り、順次計画的に実施

し、施設の状況に応じた利活用を図っていく。

政策決定にジェンダー平等の視点を



上代 和美

問 森喜朗元会長の女性蔑視発言は日本のジェンダー差別の実態が世界では121位であることをはっきり示した。コロナ禍にあつて非正規雇用の多くを占める女性たちが

解雇や就業時間の短縮、自宅待機で収入が減り、厳しい状況に立たされている。ジェンダー差別が多くの矛盾と人権侵害を引き起こしている。社会の発展の上でも雲南市の発展のためにもジェンダー平等の視点を貫くことが重要だ。審議会等への女性参画、庁舎内での女性管理職登用など市の

数値目標を実現し、多様な意見が取り入れられるようにすべきではないか。

答 市政の様々な政策決定の過程において、性別に関係なく誰もが平等に参画する機会を得ることは、多様な意見を取り入れるために非常に重要。女性の参画率はここ5年でおおむね25%前後で推移している状況で目標値の40%にはまだまだ及んでいない。女性管理職の登用も目標25%に対して20%前後の状況。女性登用率向上のためのガイドラインに基づいて、女性の参加拡大に努める。

除雪支援の拡充を



梶谷 佳平

問 除雪ボランティアへの交付金増額について伺

う。

答 作業の費用補助は単価を参考に計上している。補助金の増額は、地域自主組織連絡協議会から聞いており、今後、実情を聞いたうえで協議したい。

問 除雪ボランティア所
有の除雪機械の消耗品等
の補助制度創設について
伺う。

答 現時点で消耗品の補助は考えていないが、今後、除雪ボランティア団体と協議をしたい。

問 コロナ禍で市内事業者
者に向けた雲南市単独給
付金制度の創設を考えて
いるとのことであるが、
早急に実施できないか。
答 現在、具体的な支援策の最終的な詰めを行っており、4月に臨時議会を開催してでも早急に対応する考えである。

上代タノ先生の幅広い宣揚を



中村 辰眞

問 永井隆博士は市内外に大きく宣揚されているが、上代タノ先生は大東町以外の地域での宣揚は、全くと言っていいほど進んでいないと感じる。

答 「男女共同参画都市宣言」「平和を」の都市宣言をしている本市は、まさしく永井隆博士と上代タノ先生の思いを形としていると考える。上代タノ先生を今までより強く市内外に宣揚するべきと考えるが、見解を伺う。

劇をされ、顕彰活動に取り組みられています。今後、上代タノ先生の人物、業績等をこれまで以上に多くの方々に知っていただくとともに、より親しみを持ってもらえるよう、市報等も活用しながら、様々な啓発活動に取り組みたいというふうに考えています。

市長の基本的な考えをただす



周藤 正志

問 行政マンから市民を引っ張っていく政治家への転身だが、基本とする政治理念は何か。

答 地方、ふるさとを守ることだ。都市の繁栄を地方が支えていることから、単なる効率だけではない価値を大切にします。

問 私たちがどこへ向かって行くのか。その方向性と目指すべき未来像、将来ビジョンをわかりやすく示す必要がある。それはどのようなものか。

答 「子供の声があふれる雲南市」「大人がいきいきと活動する雲南市」「誰もが生きがいを持って安心して暮らせる雲南市」を目指す。

問 執行権を有する市長には、より公正で高潔な倫理的義務が課せられている。特定の地域や団体人への偏重はしないなど公正な職務遂行が求められる。政治倫理に対する考えはどうか。

答 政治不信を招くことがないように、市民全体の利益のために地方自治の本旨に基づき全力を挙げ取り組む。市民の声を聞き、信頼に応え、誠実かつ公平・公正で民主的な市政運営を行う。

編集後記

御衣黄が見ごろを迎え、河津桜から始まった雲南の桜の季節も終わろうとしています。桜の木の近くに、事業所の名前が入ったボンボリが立っています。地元企業などがお金を出し合っているのです。機会がありましたら、ぜひ、ボンボリにも目を向けてみてください。

先日、新設された「木次こども園」へ内覧に行ってみました。陽の光を取り込む設計になっていて、廊下も広く、とても明るく開放感のある園舎ができています。雲南の子供たちの未来も、明るく開けたものになるよう、議会でも頑張っていきたいと思えます。
それでは、皆さま、すぐにお会いしましょう。*

請願・陳情の提出について

6月定例会の請願・陳情は6月9日17時までに、議会事務局へ直接提出して下さい。上記の受付期間を過ぎた請願・陳情は、次回(9月)定例会での審査となります。

6月議会より
本会議の様様を
インターネットで配信
する予定です。

- 議会広報広聴特別委員会
- 委員長 上代和華
 - 副委員長 多田栄太
 - 委員 上賀法
 - 委員 上田純子
 - 委員 安代昭
 - 委員 上代純
 - 委員 中林昭
 - 委員 細田昭
 - 委員 矢野正弘